

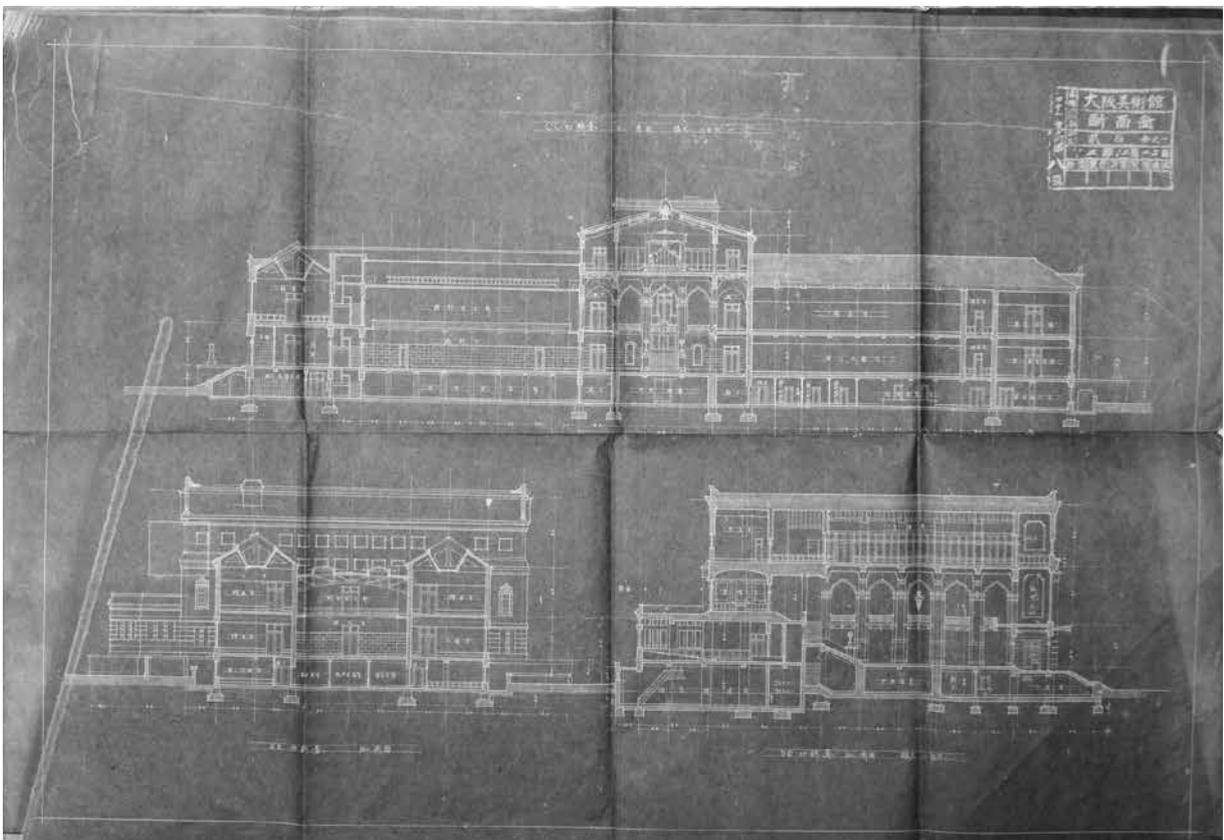
〈資料紹介〉 二一

先に紹介した昭和四年の二十五枚に加え、当館には別種の三枚の青焼図面が残る。それらは平成二十四年の春、美術館建設に携わっていたという某氏の子孫の方から当館に送付されたものである。

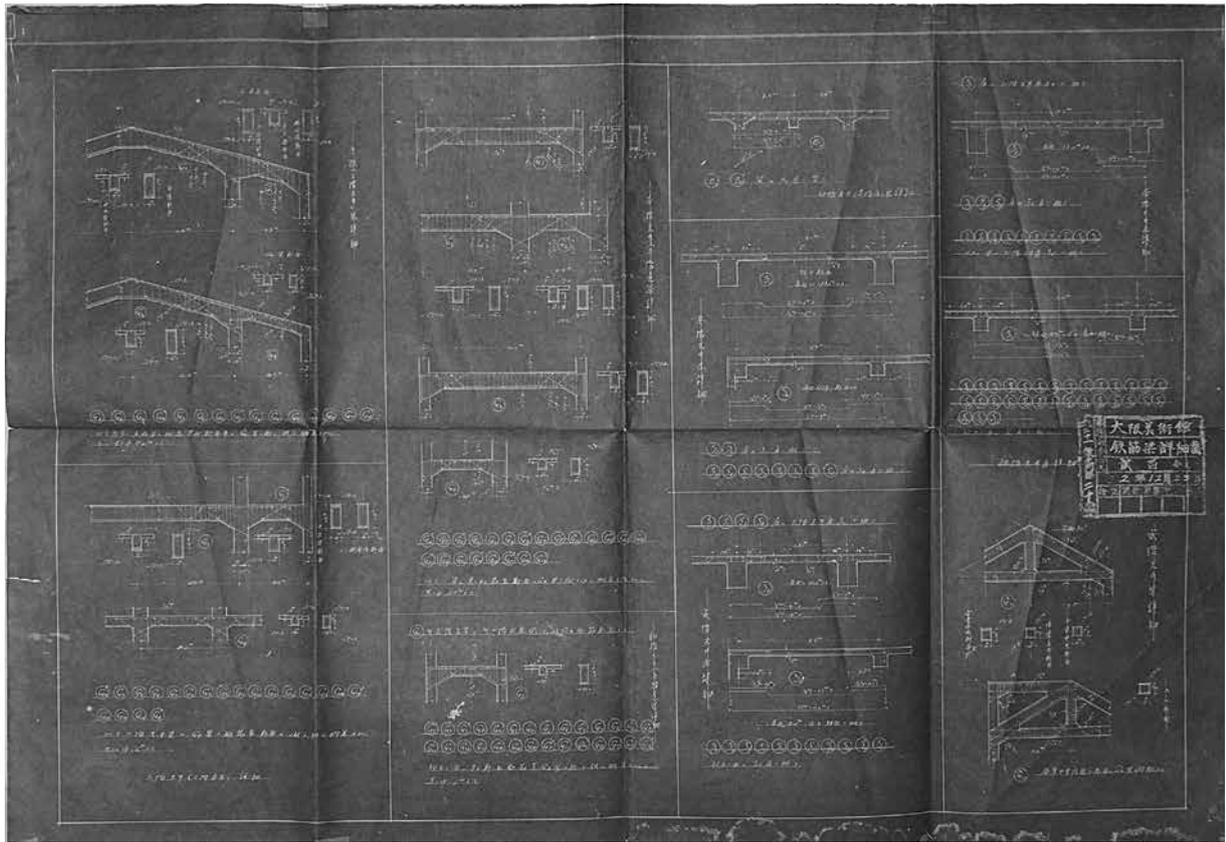
三枚の青焼図面にはそれぞれ「大阪美術館 断面図」(イ)、「大阪美術館 鉄筋梁詳細図」(ロ)、「大阪美術館 三階平面図」(ハ)と題され、いずれも昭和二年十二月二十五日との日付が記される。同年十二月二十八日に第一期工事の契約を行い翌日から着手であったので、これらはその直前の作製になるものである。先述の二十五枚揃いの青焼図面と同様、この三枚も数枚の揃いとして作製されたうちの一部と思われる。

「大阪美術館 断面図」には館内断面図が作図され、回廊部のアーチや照明器具などの内装が確認できる。よく眺められたからであろうか、他と比して褪色が進む。「大阪美術館 鉄筋梁詳細図」は一階から三階の床と天井の梁の図面を集成したものである。「大阪美術館 三階平面図」は三階の平面計画を作図する。南北の両翼はトップライトの屋根を示す。

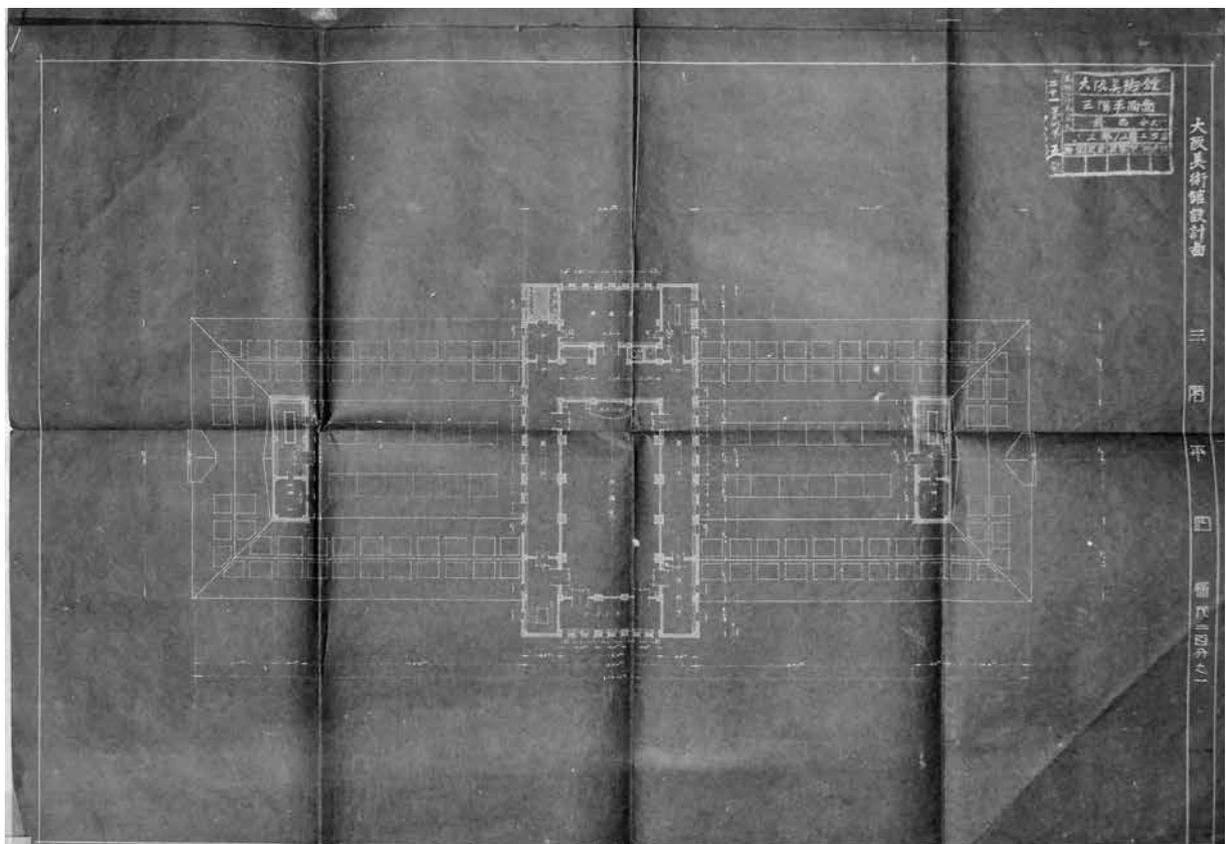
戦後進駐軍による接収の折に、戦前戦中の資料の焼捨てがあったと言い、当館の草創を語る資料というのは大変稀少である。建設期の関係者のご子孫が、氏のご逝去後も大切に保管し、当館へお送り下さったことは誠に僥倖であった。この三枚の青焼図面は、昭和四年作の二十五枚と共に今後永く残しておかねばならない貴重な資料である。



イ.「大阪美術館 断面図 貳百分之一 二年十二月二十五日」  
縦五四・五×横七七・八センチ



口、「大阪美術館 鉄筋梁詳細図 百分之一 二年十二月二十五日」  
 縦五四・五×横七八・五センチ



ハ、「大阪美術館 三階平面図 貳百分之一 二年十二月二十五日」  
 縦五四・五×横七八・四センチ